



安井光子 議員

コミュニティバスの委託費 1億3千406万円の内容は

問

コミュニティバス「II 関連記事11面」について聞く。
(1) バスの運賃収入は9カ月約412万円で、国の補助金は23年度で打ち切られると聞いたが、間違いないか。
(2) 三重交通との委託契約1億3千406万円の内容は。
(3) 乗ってもらえるバスにするには、東部ルートは400mごとのバス停、2台運行



が必要ではないか。

(4) ダイヤや運行を変えるときは、懇談会を開き、地域住民の声を聞くことが肝心ではないか。
(5) 近鉄弥富駅と佐古木駅を、乗り継ぎ拠点として整備する計画はどうか。
(6) 市民から、税金の無駄遣い、廃止せよという意見がある。一方で、交通弱者の切実な声もある。
従来の福祉バス形態か、市の自主運行か、乗り合いタクシーか、方向を判断すべきときではないか。

答 防災安全課長

人件費6千万円、車両費3千450万円ほか

(1) 国の補助事業が変更され、24年度以降は最大200万

円程度の補助にとどまる。23年度は約4千970万円を見込んでいる。

(2) 主に人件費12人分約6千万円、車両借り上げ約3千450万円ほかである。

(3) 計画で、基本的に巡回福祉バス（II 22年6月まで運行）の年間経費5千万円を、収支で上回らないことが考え方の柱になっており、増車は難しい。
市の財政事情によっては

抜本的に考え直すことを含め、今後運行を行っていく。

(4) 地域懇談会を発足（し意見聴取）するならば、増便やバス停等の個別の内容ではなく、費用も含めた立場、見方で協議したい。

(5) 4月に、総合福祉センターを中心にしたダイヤに改正しており、現段階では凍結したい。

(6) 現在、公共交通と福祉バスの位置付けを同時に行っている状況である。

どの方向に進むか、別の方法かは、アンケート等を行い結果等も踏まえ、今後

検討していきたい。

学校の特別教室 に扇風機設置を

問

学校施設設備を聞く。

(1) 特別教室に扇風機設置
(2) 温水シャワーの設置
(3) 施設のバリアフリー化
(4) 教職員トイレの洋式化

財政状況を踏まえ 計画的に整備

答 学校教育課長

(1) 普通教室は22年度までに設置した。特別教室は財政状況を踏まえ、計画的に進めていきたい。

(2) 23年度、1校で工事している。今後、財政状況を見ながら進めていきたい。

(3) 階段の手すりや段差解消は順次進めており、今後

も計画的に進めていきたい。
(4) 洋式化が遅れているので、整備していきたい。